

中小企業あきた

1 モーグルW杯たざわ湖大会の特製メダルを製作 1 ～角館工芸協同組合～	1
2 秋田県ブースで販路拡大を支援 2 ～FOODEX JAPAN 2018へ出展～	2
3 日本銀行秋田支店の吉濱支店長と意見交換 3	3
4 富樫衆議院議員へ要望書を提出 3	3
○中小企業組合等支援施策情報 3	
○景況レポート 2月分 4	
○話題の広場	
中央会事業より 6	6
アラカルト 7	7
インフォメーション 8	8



TOPICS 1 モーグルW杯たざわ湖大会の特製メダルを製作 ～角館工芸協同組合～



[樺細工の特製メダル(写真提供：角館工芸協同組合)]

3月3日(土)と4日(日)に田沢湖スキー場(仙北市)で「2018FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会」が開催され、モーグル競技及びデュアルモーグル競技の男女上位3名に、角館工芸協同組合(田口宗平理事長)が製作した樺細工のメダルが授与されました。

角館の伝統工芸「樺細工」を手掛ける45事業者により構成される同組合では、田沢湖スキー場で過去3回開催されたワールドカップでもメダル製作を手掛けており、今回が4回目となります。

今回の特製メダルは、桜の皮をふんだんに使用し、ガラスを重ねて装着したことで、ガラスを通して独特の模様が楽しめるデザインが特徴です。同組合の高島事務局長は「伝統技法『型もの』で作られた特製メダルが演出する桜皮の重厚感と柔らかさを感じてもらいたい」と話しており、機会があれば次年度以降の製作についても組合で手掛けていきたいとのこと。

今大会は平昌五輪直後のワールドカップであることに加え、五輪メダリストが出場するなど注目を集めたことで、期間中は多くの観客が詰めかけ、出場選手が見せる世界トップクラスの演技に会場は大いに盛り上がりました。

組合では、こうしたスポーツなどのイベントを通じながら、伝統技術による確かな品質の製品づくりを伝えることで、伝統工芸品「樺細工」の振興と地域経済の活性化に貢献していくこととしています。



[盛り上がりを見せるワールドカップ]



[多くの来場者で賑わう秋田県ブース]

本会では、県内の食品事業者の新たな販路開拓を目的に3月6日(火)から9日(金)まで幕張メッセ(千葉県)で開催されたアジア最大級の飲食・飲料専門展示会「FOODEX JAPAN 2018」に出展しました。本会としては、今年で4年連続の出展となります。

今回も県や金融機関等と連携することで大規模な秋田県ブースを設置し、県内24の食品事業者を支援するため、本会が企画・運営全般を担いました。

期間中は、輸入・卸売業者、小売業者等のバイヤーなど国内外から約72,000名が来場し、会場では熱を帯びた商談が繰り広げられました。

秋田県ブースでは、本会を含む支援機関の職員による呼び込みや「なまはげ」「こまち娘」の賑やかしにより、期間中ひっきりなしに人が訪れるなど、大盛況を収めることができました。



[なまはげとこまち娘]

このたびの出展に関しては、昨年末に「効果的な展示方法や商談の仕方」をテーマに研修会を開催したことで、出展者からは「去年の研修で学んだことをダイレクトに活かすことができた」といった声を頂くなど、準備段階から効果的な支援を実施することができました。

今後は、展示会出展による契約成立金額や件数などを調査し、各支援機関と情報共有することで次年度以降の出展支援に反映させていく予定です。

出展者から、このたびの展示会における成果や感想を伺いましたのでご紹介します。

■あきたセールスプロモーション協同組合(大仙市)

初出展となる今回は、組合員が製造するトマトジュース3種類を重点的に売り込みました。商品特徴の「トマトを1品種に限定した丸ごと搾汁加工」を重点的にPRすることで、Amazonジャパンから引き合いがあるなど、今後の契約成立に向けて交渉を続けていく予定です。

バイヤーから沢山の意見を頂けたことから、今後は商品の市場動向を見極めながら、価格・味・パッケージデザイン等を検証・改善することで、新たな販路を切り開いていきたいと考えています。



[出展商品]

■涉水産(男鹿市)

昨年に続いて2回目となる今回の出展は、ワカメと昆布巻きの新商品を用意して臨みました。男鹿産真昆布を贅沢に使った「漁師の手づくり昆布巻」はバイヤーからも好評で、パッケージデザインを一新させることで百貨店向け商品として販路展開していきたいと考えています。

前回の出展に比べ、今後の取引に繋がる商談を多くできたことは大きな収穫でした。商談相手をあらかじめ絞り込むことで、じっくり商品説明できたことが成果に結びついたと思っています。



[出展商品]

また、大手のバイヤーから商品コラボのご提案も頂けたことなどから、これからの展開を楽しみにしています。

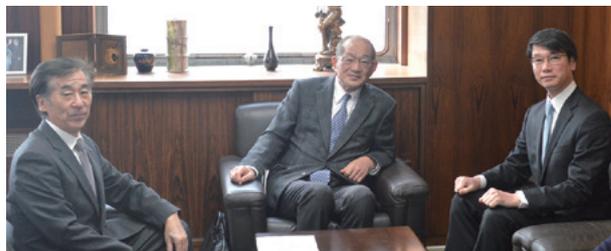
2月27日(火)、日本銀行秋田支店の吉濱久悦支店長が来所し、藤澤会長ならびに伊藤専務理事と県内中小企業の業況や本会の事業承継に関する取組等について意見交換を行いました。

懇談では、吉濱支店長が「日銀秋田支店の調査では、増収増益の会社は生産性向上のために積極的に設備投資を行い、県外需要を取り込んでいる」と報告すると、藤澤会長は「県内企業は県外への売り込みに消極的などころがあり、県外需要を取り込めていない事業者が多いが、少子高齢化が進むなか、いち早く県外へ営業活動することが増収の大きな要因となる」と意見を述べました。

また藤澤会長は、事業承継を支援する取組に関して「事業承継を大きく推進させるため、

高度化資金制度の事業類型に事業承継事業の創設を本会が全国初として国に働きかけていく準備を進めている」と話し、その概要について説明しました。

日銀秋田支店とは今後も意見交換の場を設けながら、県内中小企業の動向認識を共有していくこととしています。



[藤澤会長(中央)／吉濱支店長(右)]

3月7日(水)、藤澤会長と伊藤専務理事が東京都の衆議院議員会館を訪れ、富樫博之衆議院議員に対し、地方創生と中小企業・小規模事業者対策に関する要望書を提出しました。要望内容については次の7項目です。

- (1) 地方創生のための構造的改革の推進
- (2) 再生可能エネルギー導入拡大を加速化させるための環境整備
- (3) 奥羽・羽越新幹線の整備促進
- (4) ものづくり補助金の継続
- (5) 固定資産税減免措置を定める市町村条例制定の促進
- (6) 事業承継税制の対象範囲の拡充
- (7) 高度化資金制度への事業承継事業の創設

富樫議員からは「事業承継に関しては、税制改正など積極的に進めている。事業承継をさらに推進し、中小企業・小規模事業者の景況が好転するよう要望項目については精力的に取り組んでいきたい」と回答いただき、その後、地方が抱える課題等についてじっくりと意見交換することができました。



[藤澤会長(左)／富樫議員(右)]

中小企業組合等支援施策情報

ものづくり補助金の公募が開始される！

平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金の公募開始に伴い、3月13日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において「ものづくり補助金公募説明会」を開催し、155社が参加しました。

同補助金は、革新的なサービスや生産性向上を目指した設備投資等を補助するものであり、本会が秋田県地域事務局として申請受付等の一連の業務を行います。今回の公募締切日は4月27日(金)となっておりますので、公募申請をお考えの方は、お早めのご準備をお願いします。

なお、要綱や申請様式については本会ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードのうえ、ご確認ください。

公募締切：4月27日(金)当日消印有効

補助金額：上限1,000万円

※一定条件を満たすことで増額あり

補助率：1/2～2/3

問い合わせ先：ものづくり補助金秋田県地域事務局

TEL：018-874-9443



[ものづくり補助金公募説明会]

景況レポート

(2月分・情報連絡員80名)

業況DI値大幅に後退

【概況(全体)】

2月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが6.3%(前回調査13.8%)、「悪化」が36.3%(同28.8%)で、業界全体のDI値は-30.0となり、前月調査と比較し15.0ポイント下回った。全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は製造業・非製造業ともに全国及び東北・北海道ブロックを大幅に下回り、低調に推移した。

【業界別の状況】

食品製造業をはじめ、卸売業などで業況の悪化割合が増加し、建設業などで好転割合が減少したことで景況感が悪化した。

なお、全体の景況感は、度重なる大寒波に伴う物流・商流の混乱や操業難が各地で発生したことにより、全国的に経済活動が下押しされたことに加えて、外出控え等による国内消費の減退も強まっている一方、年度末需要の動きを前にして、さらなる製造コストの増大や雇用難・労働力不足も依然逼迫している状況にある。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-30.0	-16.7	-20.7
製 造 業	-31.2	-13.4	-18.7
非製造業	-29.1	-19.3	-21.9

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

【凡例】

快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り 10未満
 雨 30以上
 雷雨 30以下

【天気図の見方】

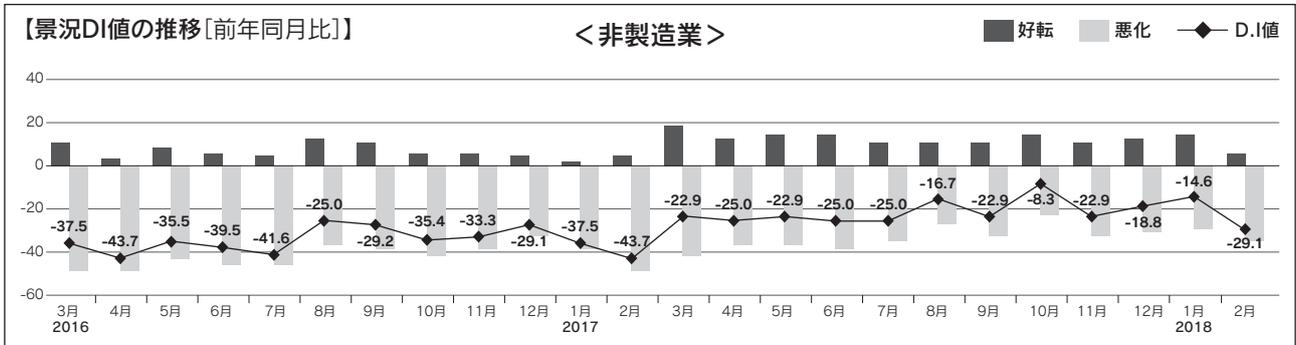
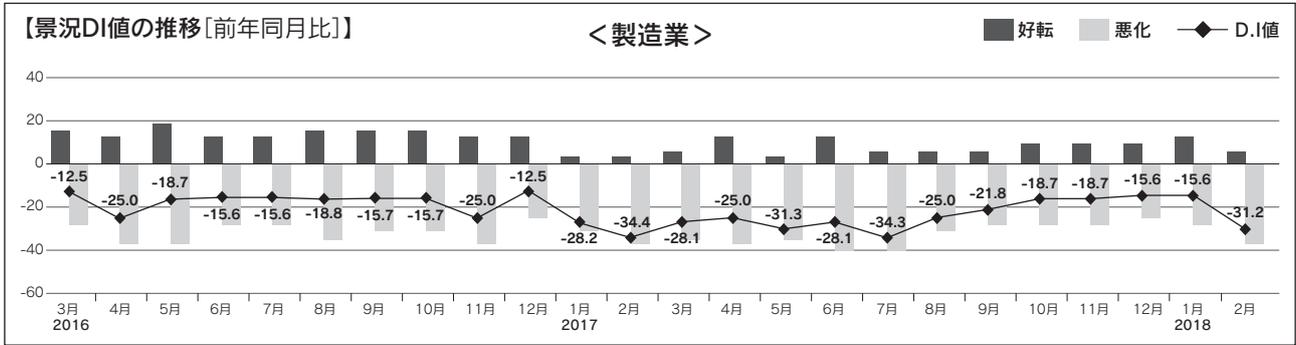
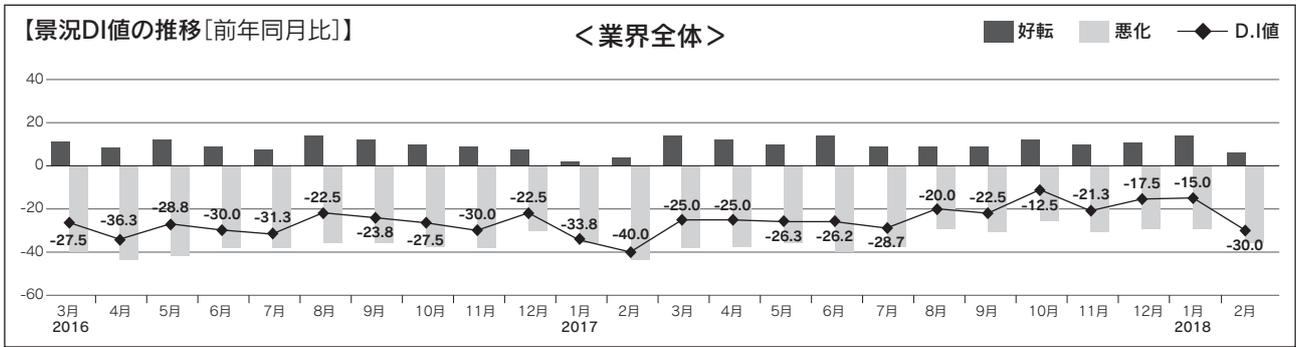
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

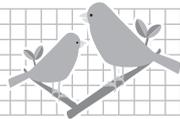
食 料 品 (菓 子)	小正月行事が各地で行われ、人出の多い所は売上増加もあるようだが、原材料の仕入単価の上昇や個人消費の低迷が続く厳しい状況にある。
食 料 品 (清 酒)	1月の出荷数量は1,081,850ℓで前年同月比95.4%であった。タイプ別では吟醸酒110.7%、純米酒100.1%、本醸造109.6%で前年同月を上回ったが、レギュラー酒については87.5%と低調に推移した。
食 料 品 (米飯給食)	2月はコンビニエンスストア、量販店、特注弁当で前年同月を上回ったものの、学校給食の実施日数減、宅配弁当の値上げによる受注減のため全体では98.0%で推移した。収益面では、コストの増加により減益の見込みである。
織 維 工 業 (ニ ッ ト)	夏物生産が最盛期に入り各社とも昨年並みの受注は確保されている。しかし、相変わらず加工賃が上がらず、採算性の向上が難しい状況である。
木材・木製品 (一般製材)	記録的な寒波により、原木の凍結に加え、製造機械も部分的に凍結したことで稼働率が低下し、原木消費量が通常より4割減少した。併せて、製品の生産量も計画どおり進まなかったことから、売上も前年比減少となった。
木材・木製品 (外 材)	2月の外材入港はなかった。合板については、2月に入って需要全体が落ち着き荷動きに一服感は出てきたものの、受注残の消化や在庫量の回復に向けて増産体制が続いている。米材等輸入材の価格上昇や接着剤の値上げ等から合板価格も値上げ傾向にあるが、収益状況に変わりはない。
印 刷	年度変わりの需要期を迎えているが、点数、量とも回復を実感するに至っていない。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	2月の出荷数量は、前年比98.5%での推移、4月～2月累計では92.3%と厳しい数字となっている。前年を上回っている地区は、鹿角、秋田中央地区のみとなっている。
鉄鋼・金属 (機械金属)	1月の売上は648,629千円で前年同月比93.1%、前月比98.4%で推移した。受注残については前年同月比、前月比ともに上回っている。
鉄鋼・金属 (鉄 鋼)	例年のこの時期は受注及び工場の稼働率にバラツキが見られる。この先4～5月頃までは低稼働率になるのではと多少不安な状況にある。最近の見積は大小物件問わず、増加傾向にある。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (自動車中古部品)	2月に入り鉄価格が2回下落し、単価は36,000円/tとなった。相場の下げ止まりを見守っている状況にある。使用済自動車の入庫については前年同月比で5%減となっている。
卸売業 (古紙)	国内在庫の増加で価格が1円~2円下がった。電子書籍など紙の使用が少なくなっている影響から回収量は9.5%減となっている。
小売業 (クレジット)	2月期の総取扱高は、前年同月比6%の減となった。大型店、一般小売店共に売上高が減少しており、消費の冷え込みが懸念される。(東北地区)
小売業 (石油)	ガソリンの小売価格は、1ℓあたり142円70銭で前月比10銭の値下がり、軽油は1ℓあたり122円40銭で前月比20銭の値上がりとなった。配達灯油18ℓは1,605円で前月比2円値を下げた。原油コストが落ち着き、為替レートも極端な動きもなく、安定した市況であった。
商店街	食料品、家電販売は前年並みの売上、身の回り品、生花、酒類販売については前年同月を下回った。(秋田市) 犬っこまつりの主会場が中心市街地から総合体育館周辺に移ったことから、昨年までのように観光客は流れてこなかった。(湯沢市)
サービス業 (自動車整備)	自動車検査台数実績では全体で前年同月比9.2%減少した。内訳は登録車が13.6%の減少、軽自動車も3.3%の減少となった。また、4月~2月累計では対前年同期比1.0%の減少となった。
サービス業 (旅行)	国内98%、海外101.4%と好調である。ただ、国内は悪天候が多く飛行機の欠航等で、期待した実績に届かなかった。
建設業 (電気工事)	マイナス金利政策によって住宅業界は好転しているようであるが、物件材料はハウスメーカーが抑えており、電材業界や電気工事店にはその恩恵はない。公共工事もないことから昨年並みの状況にある。(中央地区)
運輸業 (トラック)	荷動きは低調、軽油価格の高止まりが経営を圧迫している。(中央地区)



中央会事業より

県内の景況動向と業界が抱える課題を探る

～情報連絡員会議～

本会では、業種別・地域別に組合関係者80名を情報連絡員に委嘱しており、毎月寄せられる業界景況情報を取りまとめ、本誌の「景況レポート」としてご紹介しています。

3月5日(月)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、情報連絡員を対象にした「平成29年度情報連絡員会議」を開催し、総勢27名が参加しました。

第一部では「最近の景気動向と今後県内企業に期待すること」と題して、日本銀行秋田支店の吉濱久悦支店長からご講演いただきました。講演では、景気が全国的に回復基調にあるなか、人手不足を補うための設備投資が進んでいることに触れ、生産性向上に向けた前向きな設備投資をした企業の7割以上が増収・増益となっていることを示唆しました。

第二部では、情報連絡員から各業界における景況状況や課題、要望事項などについてご意見を伺いました。

各業界共通の課題と言える「人材不足」に関しては、「年間に高等学校を10校訪問し、生徒へのPRをお願いしている」や「求人しても集まらないことから外国人技能実習生の受入れを今後予定している」など、人材確保に向けた各業界の抱える課題や取り組みなどを具体的に聞ける良い機会となりました。

本会では、今回出された各業界からの要望事項や課題については、要望等の機会を通じて関係各所に対して声を上げていくこととしています。



【情報連絡員会議】

年度末における事務手続きを確認

～年度末事務セミナー～

多くの組合では、3月に決算を迎え、決算関係書類の作成、通常総会開催の準備など、これから事務手続きが集中する時期を迎えます。

そこで、決算日から総会終了後の諸手続きについて確認してもらうことを目的に、3月12日(月)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて「年度末事務セミナー」を開催しました。

第一部では「組合特有の税務会計のポイント及び税制優遇措置の活用について」と題し、税理士法人富士合同会計事務所の富士文友税理士からご講演いただきました。

講演では、組合に関する特別税制のほか、中小企業者の少額減価償却資産の特例などについて事例を挙げながら詳しくご説明いただきました。



【富士税理士】

▼中小企業者等の少額減価償却資産の特例

青色申告する中小企業者等には、取得価額30万円未満の減価償却資産の即時償却が認められています。(平成32年3月まで延長)

(注)対象となる減価償却資産の取得価額の合計額は年間300万円を上限とし、これを超える部分に係る減価償却資産については適用対象から除外されます。

第二部では、本会職員より年度末事務手続きに関する一連の流れや留意事項について説明しました。

▼組合員脱退に伴う出資金の払い戻しについて

組合員は、当該事業年度末日の90日前まで(定款で伸長可)に脱退の予告をした場合、事業年度終了日をもって脱退できますが、出資金については通常総会後まで払い戻すことはできません。

なお、倒産などの法定脱退の場合、組合を直ちに脱退することができますが、出資金の払い戻しは同じく通常総会終了後となります。

年度末における事務手続きについては、本号に同封する「組合決算期の事務手順一覧」をご参考いただき、ご不明な点がございましたら本会までお気軽にお問い合わせください。



【年度末事務セミナー】

“家族の絆”を提供したい ～経営力強化支援事業(企業組合秋田石販)～

■背景

企業組合秋田石販(吉田康平理事長)は、墓石の加工・設置工事のほか、墓石の卸業務を行っている組合です。

県内の人口減少により墓石の販売に関する需要減退が予想されるなか、売上を維持するためには営業力強化が課題でしたが、組合では営業職に人を割ける人的余裕はなく、別の方法による解決策の構築支援を求めています。

■主な取り組み

専門家にIT関係や企業ブランディングを得意分野とする宮崎デザイン事務所の宮崎昌裕氏を招聘し、組合コンセプトづくりから、新規受注の獲得に向けた課題の抽出と営業力強化策の検討に取りかかりました。



[コンセプトの検討]

特に時間を割いて検討したことは、組合が提供したい「価値」を決めることでした。『石を通じて家族の絆を育む』という組合コンセプトを軸としたことで、次に「やること」「やらなくてもいいこと」を選別し、優先順位をつけながら営業力強化に向けた具体的な取り組みを考え、実行へと移しました。

■成果

営業力不足を補うため“家族の絆”をイメージしたWebサイトを立ち上げました。現在は、墓石等の施工事例や石材加工品を週1回新着情報として公開するなど情報発信力の強化に取り組んでいる最中であり、墓石以外の商品ラインナップも拡充しながら売上の底上げを図りたい考えです。

吉田理事長は、今回の支援に関して「組合のコンセプトを検討したことで、やるべきことが整理できた。そして、石材という「モノ」と一緒に提供する「コト」を明確にすることで新しいサービスや商材の種が増えた。実質的な売上改善はまだ先と予想されるが、今回の支援が組合にとって重要な分岐点となるよう、引き続き取り組んでいきたい」と話しています。

墓石に関するご相談については、企業組合秋田石販(018-827-5159)までお気軽にお問い合わせください。

[組合ホームページ：<http://akitasekihan.com>]

アラカルト ● a la carte ●

■組合員企業の旬なニュースをご紹介！

全日本印刷工業組合連合会が主催する「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」において、秋田県印刷工業組合(大門一平理事長)の組合員企業である秋田印刷製本株式会社の応募作品「コミュニケーションカード」が最高賞の経済産業大臣賞を受賞しました。

同賞は、一般の方だけではなく、高齢者・障害者や子供、外国人など全ての人に対して優しいデザイン(ユニバーサルデザイン)の観点から、見やすさのほか、独自の新規性、実用性及び機能性に最も優れた作品を表彰するものであり、県内企業では初めての受賞となります。

「コミュニケーションカード」は、主に災害時に避難所で外国人と日本人の意思疎通に役立つツールとして、状況の把握や情報整理、避難所名簿に活用できるほか、スペイン語やポルトガル語など外国人登録者上位8言語に対応しています。

審査では、「災害時は社会的少数者への配慮は滞りがちになってしまうが、ダイバーシティに配慮した非常に良い作品」と評価されました。

同社の代表取締役を務める大門理事長は「当社従来の加工技術とアイデアを盛り込んだ作品が評価されたことは嬉しい。県内の印刷業界における地位向上のためにも、他の組合員に参加を呼びかけながら、様々なデザインコンペに挑戦していきたい」と話しています。



[大門理事長(左)とプロジェクトリーダーの関口さん(右)]

中小企業組合検定試験合格者が発表 —本県より6名が合格—

昨年12月3日(日)に行われた平成29年度中小企業組合検定試験(主催:全国中小企業団体中央会/後援:中小企業庁)の合格者が3月1日(木)に発表され、本県からは以下の6名が合格されました。誠にありがとうございます。

(受験番号順・敬称略)

- 岡田 悠(秋田県中小企業団体中央会)
- 花岡 勇斗(秋田県中小企業団体中央会)
- 藤嶋 樹里(秋田県中小企業団体中央会)
- 倉田 直子(協同組合秋田卸センター)
- 田賀 匠(株式会社商工組合中央金庫秋田支店)
- 豊巻 真也(協同組合横手卸センター)

本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は、本人の申請により「中小企業組合士」として認定されます。

中小企業組合士は、事業協同組合等の運営エキスパートとしての公的資格であり、本県では75名(平成30年3月31日現在)が組合事務局や商工中金等で活躍しています。

「中小企業組合士」・「中小企業組合検定試験」の詳細につきましては、本会商業振興課までお気軽にお問い合わせ下さい。

新卒者に対する採用選考等のルールを守りましょう！(文部科学省ほか)

平成31年3月新規学校卒業者の就職に係る選考開始期日及び文書募集開始時期等については、次のルールを遵守いただきますようお願いいたします。

1. 推薦及び選考開始期日並びに採用内定
 - (1) 高卒の推薦開始期日: 9月5日から
 - (2) 高卒の選考開始、採用内定日: 9月16日から
2. 求人申込みの手続き
 - (1) 高卒の求人受付: 6月1日から
 - (2) 高卒の求人公開: 7月1日から
3. 就業開始時期
 - (1) 高卒の就業開始時期: 卒業後から

また、新規学校卒業者に対しての事業主の一方的な都合による採用内定取り消し及び入職時期の繰り下げが決して行われることがないよう、会員組合及び組合員企業の皆様におかれましてはご理解とご配慮を宜しくお願い致します。

協会けんぽの保険料率に変更になります (協会けんぽ 秋田支部)

平成30年度の協会けんぽの健康保険料率及び介護保険料率に変更になります。

なお、保険料率の適用時期は、平成30年3月分(平成30年4月納付分)からとなります。

※ 任意継続被保険者の方は、平成30年4月分(平成30年4月納付分)からとなります。

	現行	変更後
健康保険料率(秋田支部)	10.16%	10.13%
介護保険料率(全国一律)	1.65%	1.57%

※ 40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

[お問い合わせ先]

全国健康保険協会(協会けんぽ)秋田支部
企画総務グループ ☎018-883-1841

「仕事休もっ化計画」で9連休を！ (秋田労働局)

「仕事休もっ化計画」

5月1日と2日を休むと9連休!!

秋田労働局雇用環境・均等室では、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現のため、年次有給休暇の取得促進を進めています。

働き方・休み方を考える第一歩として、労使協調のもと、土日・祝日に年次有給休暇をプラスして連続休暇を実現する「プラスワン休暇」を実施しましょう！

[お問い合わせ先]

- 年次有給休暇の取得促進について
秋田労働局雇用環境・均等室
TEL: 018-862-6684
- 年次有給休暇の制度について
各労働基準監督署

＝人事異動のお知らせ＝

【秋田県】(4月1日付)

産業労働部(商工関係)の転入出者は次のとおりです。
《転入》()は前職、〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

産業労働部新エネルギー政策統括監(建設部参事(兼)道路課長) 石川 浩司

産業労働部食品産業振興統括監(兼)観光文化スポーツ部次長(農業試験場企画経営室長) 吉尾 聖子

産業技術センター上級首席研究員(兼)産業技術センター先進プロセス開発部長(産業技術センター素材プロセス開発部長) 沓澤 圭一

産業労働部課長待遇〈あきた企業活性化センター〉(輸送機産業振興室主幹) 松井 信光

産業労働部課長待遇〈秋田県信用保証協会〉(総合防災課政策監) 佐藤 和彦

◎産業政策課

課長(地域産業振興課長) 佐藤 徹

政策監(市町村課主幹) 佐藤 良知

主幹(商業貿易課副主幹) 仲村 陽子

副主幹(秋田商工会議所)〈広報広聴課副主幹〉 小野 貴宏

副主幹(農林政策課副主幹) 加賀谷一範

副主幹(産業政策課主査) 湊谷 晃清

主査(産業政策課主任) 刀根 雅一

主査(産業政策課主任) 伴藤 崇

主任(産業技術センター総務管理部主事) 浅野 晃子

主任(東北経済連合会)〈がん対策室主事〉 富樫 知洋

主事(秋田地域振興局建設部主事) 村上 忍

主事(北秋田地域振興局農林部主事) 山岡 浩樹

◎産業政策課 デジタルイノベーション戦略室

室長(産業政策課政策監) 羽川 彦祿

副主幹(地域産業振興課副主幹) 大西 勝

主査(商業貿易課主査) 持田亜由子

主査(自治研修所主査) 羽賀 淳一

主任(情報企画課主任) 佐藤 信吾

主事(商業貿易課主事) 高橋 里奈

◎地域産業振興課

課長(産業労働部課長待遇) 工藤 千里

副主幹(産業政策課副主幹) 大森 慎也

副主幹(自治研修所副主幹) 田澤 毅

副主幹(人事課副主幹) 甲谷 暢

副主幹(地域産業振興課主査) 西村 淳一

副主幹(地域産業振興課主査) 熊谷 暢

主査(あきた企業活性化センター)〈北秋田地域振興局大館福祉環境部主査〉 赤坂 匡映

主査(秋田地域振興局農林部主査) 藤中康一郎

主査(企業立地事務所主査) 寺岡 徹

主事(市町村課主事) 鎌田 晴香

主事(北秋田地域振興局総務企画部主事) 那須あかね

主事(トヨタ自動車東日本)〈由利地域振興局建設部主事〉 井川 武宗

◎地域産業振興課 輸送機産業振興室

副主幹(産業集積課副主幹) 石山 聡

主事(地域産業振興課主事) 畠山 茂久

◎産業集積課

主幹(産業集積課副主幹) 三浦 均

副主幹(地域・家庭福祉課副主幹) 小野寺智康

◎商業貿易課

副主幹(地域産業振興課副主幹) 加藤 慶美

主任(総合防災課主事) 三浦 真幸

◎資源エネルギー産業課

政策監(産業技術センター技術イノベーション部長) 工藤 公樹

主幹(資源エネルギー産業課副主幹) 岸 勉

副主幹(広報広聴課副主幹) 桜田慎一郎

副主幹(産業政策課副主幹) 辻田 豊英

副主幹(資源エネルギー産業課主査) 沢木 昭祥

主事(東京事務所総務企画課主事) 菅 伸生

◎雇用労働政策課

課長(健康福祉部課長待遇) 田中 等

主幹(大曲技術専門校主幹) 阿部 等

副主幹(監査委員事務局監査第二課副主幹) 諸井 忠道

副主幹(医務薬事課副主幹) 近藤 陽

副主幹(ねんりんピック推進室副主幹) 齋藤 淳子

副主幹(雇用労働政策課主査) 高橋 彩子

《転出》〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

東京事務所長 金子 治生

建設部次長 菅原 喬

東京事務所総務企画課長 大池 幸彦

◎産業政策課

財政課長 猿田 和三

秘書課政策監 小林 栄幸

高等教育支援室副主幹〈県大大湯〉 能登 匡

秋田港湾事務所主査 佐藤 崇

公営企業課主査 三浦 一智

医務薬事課主任 井上 博貴

雄勝地域振興局総務企画部主事 田口 歩

◎地域産業振興課

産業技術センター技術イノベーション部上席研究員

	松倉 和浩
地域の元気創造課副主幹	小玉 博文
船川港湾事務所副主幹	渡部 一也
教育委員会主査	木村 浩史
文化振興課主査	石戸谷昭道
由利地域振興局総務企画部主査	三浦 久人
人事委員会事務局主査	富樫可那子
移住・定住促進課主任	高橋 祥子
建設政策課主事	遠藤 政宏

◎地域産業振興課 輸送機産業振興室

教育委員会主査	武田さやか
教育委員会主任	鈴木 佳江

◎商業貿易課

被災者受入支援室長	中田美英子
情報企画課主幹	田口 一郎
次世代・女性活躍支援課副主幹	橋本 喜明
調査統計課主任	石田 義治
北秋田地域振興局総務企画部主事	竹ヶ原依李

◎資源エネルギー産業課

調査統計課主幹	進藤 啓介
情報企画課主幹	佐藤 修
農業経済課副主幹	加賀谷 匠

◎雇用労働政策課

生活環境部参事(兼)県民生活課長	高橋 博英
総合県税事務所納税部収納管理課長	佐藤 孝司
健康づくり推進課主査	伊藤 純樹
総合県税事務所納税部主査	今野 武仁
秋田地域振興局総務企画部主査	菅 香
秋田技術専門校技師	福田 立征
総合県税事務所納税部主事	黒崎 拓

【株式会社商工組合中央金庫秋田支店】

(3月17日付)

()は前職 敬称略

《転入》

秋田支店書記(金沢支店) 酒井 康裕

《転出》

長岡支店調査役(秋田支店営業第一課課長) 大島 一樹

【秋田県中小企業団体中央会】(4月1日付)

()は前職
事務局次長兼事業振興部長 畠山 頼仁

◎総務企画部

部長兼総務企画課長(副部長兼総務企画課長)	藤田 実
総務企画課主幹(総務企画課課長補佐)	齋藤 典昭
総務企画課主任(総務企画課主事)	稲葉 健
総務企画課主事(総務企画課主事補)	岡田 悠

◎事業振興部

部長兼工業振興課長(副部長兼工業振興課長)	加藤 謙太
工業振興課課長補佐(商業振興課主査)	目時 均
商業振興課主査(工業振興課主査)	谷口 秀明
大館支所主事(商業振興課主事)	藤野 孝輔
商業振興課主事(大館支所主事)	黒政 祐亮
工業振興課主事(横手支所主事)	菅 佑輔
横手支所主事(商業振興課主事)	藤本 貴寛

【新規採用職員のお知らせ】

4月1日付で職員を新規採用しました。
宜しくお願い致します。



石井 智之(いしい ともゆき)

【工業振興課 主事】

【退職職員のお知らせ】

本会事務局長加藤貢さんが3月31日をもって退職致しました。

加藤貢さんは36年間6ヶ月にわたり県内の組合・業界の育成・支援に力を尽くされ、本会の発展に大きく貢献されました。

今後益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。



官公需適格組合
『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 本多 秀文
副理事長 松木 文雄
" 太田 博之

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

損害保険・生命保険



保険と暮らしの相談センター

株式会社 **アキタ保険**



本社
〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目5-9
TEL 018-864-6921 FAX 018-864-6922
URL <http://www.akitahoken.co.jp>

フレスポ本荘店
〒015-0011 秋田県由利本荘市石脇字田頭141-1
TEL 0184-24-5511 FAX 0184-24-5512

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP



秋田支店
〒010-0951
秋田市山王2丁目 1-43
☎018-896-1680

秋田ゼロックス株式会社

代表取締役会長 蒔苗 昭三郎
代表取締役副会長 辻 良之
代表取締役社長 吉田 進

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反 170-92
Tel:018-823-4645 Fax:018-823-7559

秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

ホテルメトロポリタン秋田
〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222
<http://www.metro-akita.jp/>

保険とリース、相続・事業承継のご相談はお気軽にどうぞ!!



株式会社
保険&リース **北日本ベストサポート**

URL <http://www.knbs.jp>

本社 〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822
県南営業部 TEL.0187-66-3622 能代東支店 TEL.0185-58-2116
酒田支店 TEL.0234-75-3370

『創意』

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666

URL：http://www.k-chiyoda.jp

For Earth, For Life
Kubota

Hello, mySmile

陽菜 Smile
ハルナ



詳しい製品情報はこちらのQRコードから！

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38

Tel：018-845-2121 Fax：018-845-6600

株式会社

八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12

TEL 0186-34-2011

FAX 0186-34-2013



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 秋田支店

〒010-0921 秋田県秋田市大町 3-3-15 Tel:018-862-8421 http://www.sjnk.co.jp/

支社・営業所：秋田・大館・能代・由利本荘・大仙・横手・湯沢

2018

4
Apr

中小企業あきた

平成30年4月1日発行（毎月1日発行）第695号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円